

綾織町ひとり暮らし高齢者交流会



怪談師/小田切大輝氏



笑顔あふれる楽しい交流会となりました

11月14日、たかむろ水光園で綾織町ひとり暮らし高齢者交流会が社会福祉協議会綾織支部の主催行われました。これは、ひとり暮らしの高齢者の交流等を目的に開催されているもので、長らく感染症の影響で中止となっておりましたが、今年再開することが出来ました。この日は23人の一人暮らしの高齢者を含む36人が参加し、遠野市で怪談師として活躍されている小田切大輝さんの御話や、水光園の温泉、お食事を楽しみ、交流を深めました。

(遠野市社会福祉協議会綾織支部)

重文千葉家の活用を考える会
茅刈りワークショップ

11月12日、重文千葉家の活用を考える会が、茅刈りワークショップを行いました。今年は20名ほどの参加があり、春に火入れを行ったので、背丈を優に超える、真っすぐな茅に育っておりました。

この日は、新潟のテレビ局の取材が入り、この活動に対しての、関心の高さがうかがえます。千葉家の修復も進んでおり、オープンが待ち遠しく思えます。

(重文千葉家の活用を考える会)



第82回一関・盛岡間駅伝競走大会(日報駅伝)



第82回一関・盛岡間駅伝競走大会が11月23日に開催され、今年は綾織走友会のメンバーから、花巻市Bチームの4区(6.9km)に菅田和馬さん、遠野市チームの7区(8.6km)に多田広樹さん、8区(7.4km)に中軽米一輝が出場しました。

この大会は日報駅伝と呼ばれ、国道4号を中心に11区間95.2キロをタスキでつなぐ伝統的な大会です。

一般部門には、県内の市町村21チームが参加し、遠野市は19位という結果になりました。レースの途中、7区を走った多田さんは、順位をチーム最高の15位まで引き上げました。

私(中軽米)事ですが、綾織に来て、ダイエットでマラソンを始め、このような大会に呼んで頂けるまでになりました(体重も25kg減りました)。来月に36歳になりますが、「何かを始めるのに遅いということはない」と感じています。これからも色々な事に挑戦していきたいです。

(綾織地区センター)



左から 菅田和馬、多田広樹、中軽米一輝 (敬称略)

綾織町ミニミニ健康講座

11月30日に綾織地区センターで綾織町ミニミニ健康講座が開かれました。この健康講座は、認知症や介護について理解を深め当事者や家族が抱える思いについて参加者同士で共有してもらおうと綾織町保健推進委員協議会が実施したものです。22人の参加があり、参加者たちは、認知症に関する知識について理解を深めた様子でした。

(綾織町保険推進委員協議会)



冬の交通事故防止県民運動の実施 【スローガン：「何で来た？」乾杯前の合言葉】

実施期間：令和5年12月15日(金)～12月24日(日)まで

冬季は、積雪や凍結による道路環境の悪化に伴う交通事故の発生や、冬休み中の子どもが関係する事故の発生が懸念されます。交通ルールの遵守と交通マナーの実践により、交通事故防止の徹底を図りましょう！！

(遠野市交通安全協会綾織分会)

手指からウイルスを撃退するために

保健師さんからのお知らせ

インフルエンザや新型コロナウイルスの感染経路として、手指から感染する接触感染に注意が必要です。人は無意識のうちに顔を何度も触っています。ある調査では1時間に平均で23回も顔に触れていたそうです。手指にウイルスが付いたまま目、鼻、口に触れて感染するのを防ぐには、手指を清潔にしておくことが欠かせません。正しい手洗いや手指の消毒をし、手指からウイルスを撃退しましょう。

手洗い・手指消毒の適切なタイミング

- ①外出先から帰った時
- ②食事の前、調理の前、トイレ使用後
- ③咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ④外出先では、手すりやドアノブにつかまる、商品やカゴに触るなど、何かに触る前と後に消毒を徹底するのが理想です。

アルコール消毒液による手指消毒の手順

- ①十分な量を手のひらに取る
- ②両手の指先に消毒液をすりこむ
- ③次に手のひらによくすりこむ
- ④手の甲・指の間・親指にもすりこむ
- ⑤手首も忘れずにすりこむ



手洗いがすぐにはできない状況では、アルコール消毒が有効です。アルコールは、ウイルスの「膜」を壊すことでウイルスを無毒化します。

「前」は、もしも自分が感染していた場合に誰かにうつしてしまわないために、

「後」は、もしもウイルスが付いていた場合に感染しないために、手指の消毒を行います。



健康長寿課
健康推進係